

会議録

会議の名称	第10回新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会
開催日時	令和7年9月11日（木）午後7時00分から
開催場所	新城市役所4階会議室4－1
会議の次第	1 傍聴 2 委員長あいさつ 3 検討 (1) 討論テーマについて (2) 討論方法について (3) 主宰者について 4 その他
欠席委員	河合委員 推薦委員1人

1 傍聴

傍聴希望者がいたため、会議の非公開の希望について推薦委員に確認し、非公開とする希望はなかったため、公開となった。

2 委員長あいさつ

委員長からあいさつがされた。

3 検討

(1) 討論テーマについて

委員長	それでは検討(1)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 前は、意見を出しあった回であった。1回で2テーマという意見が多くあり、その場合の時間配分としては、2時間を単純に按分すると1テーマにつき最大で45分程度となる。 ・ 前回の内容を踏まえ、各立候補予定者と推薦委員とで調整をしているはずである。少なくともテーマは決定したい。 ・ テーマの決定について改めて説明する。条例上、各立候補予定者の提案を尊重してテーマを決定するよう定められていることから議題提案書の内容は尊重する必要がある。加えて、条例の制度上、討論テーマが決まると立候補予定者からの情報提供の申出ができるようになることから、速やかに決定をしていく必要がある。 ・ 討論テーマを決定し、次の段階に進んでいきたい。
委員長	それでは、各立候補予定者と調整をしてくださっていると思いますので、まずはそれを確認してから進めたいと思います。 では、カークランドさんの陣営からお願いします。
推薦委員	アンケートの結果も重要ですが、推薦委員は本人が希望した提案内容にしてほしいとすることが役割だと思います。片方からの目線ではない一般委員の方はフラットに考えられますし、私たちは討論会に関する経験者でもありませんので、まず一般委員の方から示していただく方が良いと思います。
委員長	分かりました。では、下江さんの陣営からお願いします。

推薦委員	人口問題と産業振興の2つを提案していますが、この2つはカークランドさんが提案されているものにも、住民自治は異なるとは思いますが、含まれているものと思われます。こちらとしては、この2つを提案するということになります。 前回、防災・減災、医療・福祉、子育てがテーマ案として出ましたが、人口減少時代をどうしていくかという中でそれぞれ議論されるのではと思います。
委員長	では、一般委員の意見も聞きながらテーマを決定していきたいと思います。 過去の経験としては、多くの方に見ていただくためには、分かりやすい表現や短いフレーズの方が良いと思います。それでは御意見いただければと思います。
委員	条例で尊重するとなっていますが、考えてみると当然の話だと思います。こうしたいという想いで立候補をするのですから、それを尊重しなかったら意味がないものになってしまいます。最も大切にするべきだと思います。 話は変わりますが、一般市民の方は市の現状に関する情報を持っていませんので、討論会の最初に基本的な情報を共有する時間が必要だと思います。
委員長	テーマに関する意見と方法に関する意見の両方をいただきました。
委員	テーマはなるべくシンプルでぱっと分かる内容が良いと思います。特定のテーマに対する意見ではないですが、例えば人口問題とすると、色々な視点があるため話が広がってしまう可能性があります。特定のテーマについてしっかりと討論をして、残りの時間に自由討論の時間を設ける形が良いのではないかと思います。
委員	産業政策と財源の確保は共通点があるので、大きく括ってしまう方法が良いのではないのでしょうか。
委員	5つの提案をまとめて分かりやすい言葉でいくのであれば、「若者が残りたくなるまちにするには」とすると人口と産業が入って子育て

	も入りますし、「人が集まる賑やかなまちにするには」とすれば魅力の掘り起こしも入ってきますし、人口や産業が入ってきます。「安心して暮らせるために」とすると災害・医療・高齢者が関連してきます。 大きすぎると話が飛びすぎるという懸念はありますが、その中でもこれを中心にしましょうと決めておけば良いですので、タイトルは広くしてはと思います。
委員	1回のテーマ数はどうしますか。
委員	特定のテーマと自由テーマの2テーマで1回としてはどうでしょうか。
委員	4つだとすると、なおさらテーマは大雑把にしておいて、そこから話が広がっていく形で良いと思います。そこから人柄が見えてくる部分がありますし。人口・産業・住民自治・安心安全のような。大雑把なテーマは自由テーマに近いものだと思います。
委員	立候補予定者は話したいことがあるのですが、市民が聞きたいテーマでないと、情報を多く持っている立候補予定者と普通の市民とでは課題の認識に差があると思います。 カークランドさんの方は手法の話で、下江さんの方は課題の話になっていて着眼点は同じだけれど切り口の違いだと思いますので、市民目線の切り口にするとう聞きたい話になるのではないかと思います。
委員長	私としては、大雑把なテーマから話が広がっていくようにして、関心があるフレーズをどう選ぶのかなというところです。 最大で4つとしてこれは外せないというものがあればそれを確保して決めていければと思います。 下江さんとしては人口と産業が入っていればというところですかね。
推薦委員	決意表明のような場面はこれまでありましたか。
委員長	どうでしょう。自己紹介に近いものですので、そういう話の振り方まではしてなかったのではないのでしょうか。
推薦委員	そういう場面があれば本人の方向性が分かるのではないでしょう

	か。
委員長	そうですね。次の方法の中で話し合うことになりますが、そういった意見を踏まえてテーマの検討をしていきましょう。
推薦委員	本人の思いが2回伝わると良いですね。
委員長	そうすると、話したいテーマを半々にすることが良いですね。人口と産業を分けて、もう2つをどうするかということですが。
委員	4年前はどうでしたか。
事務局	4年前は、1日目が、安心して暮らし続けられるまちづくり～生活安心政策～、2日目が、人が集まる活力あるまちづくり～産業政策～、3日目が、人口減少と少子高齢化に負けないまちづくり～人口政策～でした。
委員	8年前は、人口・産業・市民自治で実施しました。人口は話が拡大していききました。
委員長	今までのところからすると、人口・産業・市民自治・安心安全の4つで、あとはこれを整えるくらいですかね。 この4つに絞ったところは問題ないでしょうか。
推薦委員	下江さんの提案の表現をそのまま使ってしまうと中立性に疑問が出てしまいそうですが。
委員長	表現はこれからですが、お二人の意図を2つずつくみ取って市民に伝わるようなフレーズにする必要はありますね。尊重できるように。
委員	4年前のようなサブテーマがあっても良いと思います。例えば人口政策としてしまうと堅い感じがしてしまいますので。
委員長	気を付けなければいけないのは、耳なじみは良いのですが、表現によっては主張するところとギャップが生じてしまう可能性があることです。
推薦委員	新都市の人口問題をどう捉えるのか、のような問題提起のような形はどうでしょうか。
委員長	人口問題の「問題」は気になります。スタートがネガティブになってしまいますので。例えば、新城の人口をどう考えるのか、とすれば

	色々な捉え方があります。
委員長	産業に関していえば、産業が良いのか、まちの活力とする方が良いのか。
推薦委員	産業だと工業のイメージが強いですので、経済や財政の表現が良いのでは。
委員長	財政だと「政」が入ってしまって、官民でいうところの官に寄ってしまいますね。経済なら捉えられるかな。 表現を合わせるなら新城の経済をどう考えるのか、ですね。
推薦委員	新城のまちづくりをどう考えるのかという表現もありますね。
委員長	まちづくりという提案が出ましたがどうですか。
推薦委員	活力という表現が入ってくると、まちの活力という表現であれば。
委員長	おおむね意見は出てきたと思っていて、タイトルは単語よりも文章で、新城市の人口をどう考えるのか、新城市の経済をどう考えるのか、新城市のまちづくりをどう考えるのか、これはまちの活力かもしれませんが、このようにフォーカスされてきています。 この方向性に違和感があるようであれば一度切りますが。
委員	新城市って必要ですか。
推薦委員	確かに、いらないか。
委員長	なくても良いですね。そうすると、人口をどう考えるのかのような形です。あとは選定です。
委員	これはどのタイミングで市民にお知らせするのですか。
事務局	チラシは決まり次第刷ることができます。刷り上がるのは9月の下旬です。 実行委員会でテーマが決定したら、市役所内部での決裁をし、その後速やかに公表するということになっていますので、ホームページやマスコミなどで公表をしていきます。 公になるタイミングとしてはすぐになりますが、多くの方が知るのはチラシをまいたときになると思います。
委員	チラシの配布方法は何ですか。

事務局	新聞折り込みです。準備を進めています。 また、ホームページ、あとはティーズでの放送が24日からです。軽トラ市での配布をしにいきます。 ほのかへの掲載については、間に合わないためありません。
委員	テーマの最終決定は、いつまでですか。
事務局	予定では、明日入稿です。明日を逃すと軽トラ市での配布はできなくなります。それを考えて明日に入稿する予定としています。
委員	経済という言葉を変えたいです。お金の流れをどう考えるのかとしたいです。
推薦委員	税金の使い方はどうでしょう。
委員長	両陣営の内容が1つずつ入っている形になりますね。
委員長	両陣営から見て、これは削った方が良いという意見がありましたら言っていただければ。
推薦委員	表現としてはお金や税金というよりも、難しい言い方になってしまいましたが財政の方が良いと思います。市の財源としては税以外の部分もありますので。 広報でも財政の話として掲載していますよね。
委員長	人口をどう考えるのかと財政をどう考えるのかであれば、色々な形でフォローもできますし、この2つでいかがでしょうか。
委員	この2つを1日でということですか。
委員長	2日に分けて、どちらを1日目にするのかを決めていくことになります。
事務局	1日1テーマでいいですか。
委員長	4つにするのであれば、もう2つ考えないといけませんね。
委員	討論方法にもよりますよね。
推薦委員	増えてしまうとしっかりとした討論ができなくなってもったいないです。
委員	フリートークも面白そうです。
委員長	それを選択するのであれば、テーマは1つずつが良いですね。分か

	りやすいですし。
委員	フリートークへの導入の部分は〇×から進める感じですか。
委員	それとは切り離れたものを想定しています。
委員	ここからは2人で話してねということですか。
委員	そこからはお互いに質問して答えていくような形です。
委員	そうすると聞く側は、そのときまで何が話されるのか分からない状態になります。
委員長	これまでも事前に個別の質問内容まで公表するようなことはしていませんので。
委員	方法として、討論前に、聞く側に関連情報の提供をするような話がありました。
委員長	具体的な方法の話が出てきましたが、これは次の段階です。
委員	方法によってテーマ数は変わると思います。大雑把には方法を決めておかないと。
推薦委員	方法・運営の方は、どうすべきか分からないので一般委員の方で検討していただければと思いますが。
委員	4テーマにしても2テーマにしても実際は話が拡大していくことになると思います。
委員長	では、2テーマとして、人口をどう考えるのか、財政をどう考えるのかのどちらを1日目とするかです。1日目は平日の夜で2日目は祝日の午前中です。 感覚ですが、子育て世代などが聞きやすい祝日に人口の方が良いと思います。
推薦委員	良いです。
推薦委員	こちらも良いです。
委員長	合意形成の場ですので、確認をします。 1日目のテーマが財政をどう考えるのか、2日目のテーマが人口をどう考えるのか、となっています賛成の方は挙手をお願いします。 全員の同意をいただきましたので、このテーマで決定します。

(2) 討論方法について

委員長	それでは検討(2)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 前は、討論テーマと同様に意見を出しあう会議だったが、○×での回答形式を入れる場合には、補足をする機会がないとその○×の回答だけが独り歩きをしてしまう懸念があることから、○×には補足の機会を付与することが合意形成された。 ・ その他については決まっていなかったため、2時間の開催時間をどのように使うと市民が政策や方策を理解するための討論会としてより良いものとなるのか検討を進めたい。 ・ 今回で決めきる必要はないが、開催まで時間がないため、検討を進めたい。
委員長	では検討を始めますが、次回にはおおむね決めたいと思います。 日によって違う方法とすることも考えられますが、まずは2日とも同じ方法という想定で検討をします。 これまでの話からすると、市民へのテーマに関する情報提供、決意表明のようなもの、○×、質問に対する口頭での回答、立候補予定者同士での討論のような内容が出てきていると思います。 順番や配分等についても御意見いただけると次回がスムーズです。 いかがでしょうか。
推薦委員	一般委員の方には経験者の方もおられますので、私たちの意見ではなく一般委員の方たちで決めていただいたものが良いと思います。
推薦委員	それで良いです。
委員長	分かりました。ありがとうございます。 では、進め方として、一般委員だけで検討を行ってその後に案を提示するような進行も考えられますが、迷います。
委員	一般委員でたたき台の案を作って提案をしてから調整ということですね。

委員長	次回に一般委員のみで検討をして次々回に推薦委員も含めて検討をする進行とすると時間的には間に合いますか。
事務局	討論方法だけの話であればそれで良いのですが、司会進行役の話などについても検討する必要がありますので、会議の回数を1回増やす想定になります。あと2回で必要事項は決めきり、当日の具体的な質問内容などを決める回を10月2日と想定しています。リスクを考えるともう1日会議回数を増やす必要があります。
委員	今方法を決めてしまえばいいのでは。 まずは、テーマに関する市民への情報提供、テーマの討論、〇×、〇×の1つからフリーにつなげるような流れで良いのでは。
委員	〇×については補足時間を設けて、フリーの時間は完全なフリーとして話したいことを話してもらった方が。
委員長	おおむね合意いただければ来週は調整ということになりますので。
委員	あとは時間配分を具体的にして。
推薦委員	例えば、前半を一般委員の方のみでの会議として案を固めてもらって、後半に推薦委員も含めて調整をするような形はどうですか。 無駄もないですし。
委員	良いと思います。
委員長	良いですね。
事務局	その方法は合意形成の機会をしっかりと確保できて良いと思います。
委員長	では、先に1時間一般委員で検討をして、その後推薦委員の方に入っていていただいて最終確認をして合意という方向で進めましょう。
委員	関係ない話ですが良いですか。
委員長	どうぞ。
委員	今日は一般質問がありましたが、部長さんは昨日も今日も一般質問への対応があつたりと大変ですので、4年後にはそこと重ならないようにしてあげてください。
事務局	ありがとうございます。

(3) 主宰者について

委員長	それでは主宰者について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 今回は2人開催であるため、主宰者が討論の相手方になるようなことは想定しておらず、討論方法次第だが、あくまで進行役としての役割を想定している。以前の実行委員会では、調整の困難さ等を考慮して実行委員会の中で対応しようという話になっていた。 ・ 主宰者は、立候補予定者の承認が必要なため、会議の中で検討をし、それを推薦委員から立候補予定者に説明してもらい、承認につなげていくというイメージをしている。 ・ 今回は、決めきるわけではなく、情報と意見の共有をしたい。
委員長	承認は紙で署名をしてもらう形ですか。
事務局	4年前は、各立候補予定者に説明に行って署名をもらい、併せて当日の進行やそれまでに必要な事項等を説明しました。今回も同じ流れを想定しています。
委員長	会議の中で検討をし、同意をいただき、立候補予定者の方に説明をしていただく流れです。 事前の会議では、委員でということで検討をしましたが、御意見はありますか。
委員	全体像が分かっている人で良いと思います。
委員長	おおむね一任いただける形で良いですか。 では、次回の一般委員の検討の中で進めたいと思います。

4 その他

次回の日程

9月18日（木） 4階会議室

一般委員 午後7時から

推薦委員 午後8時から